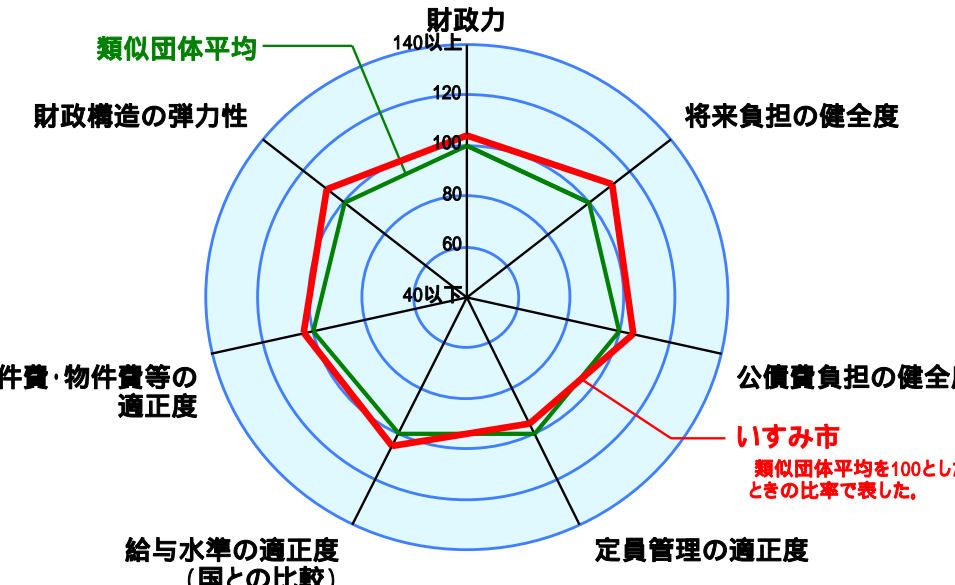
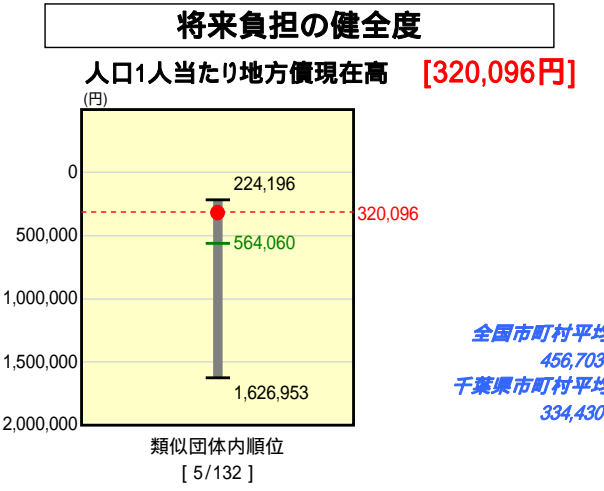
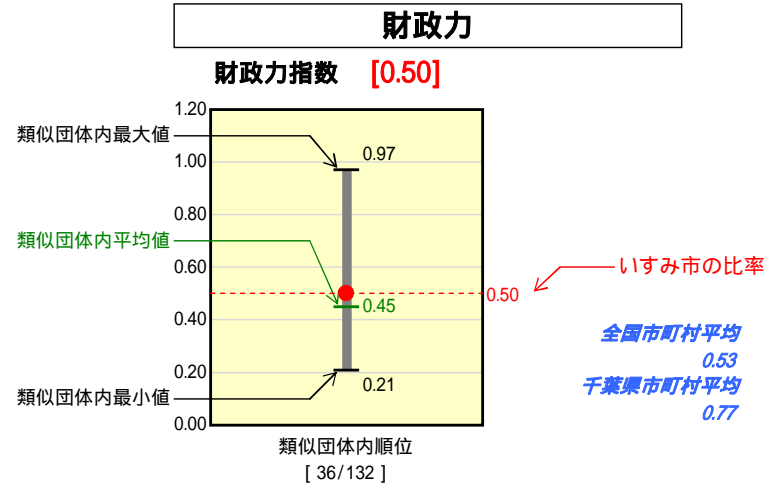


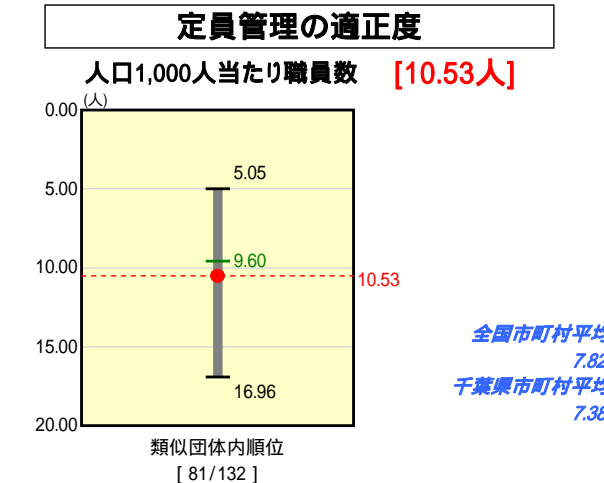
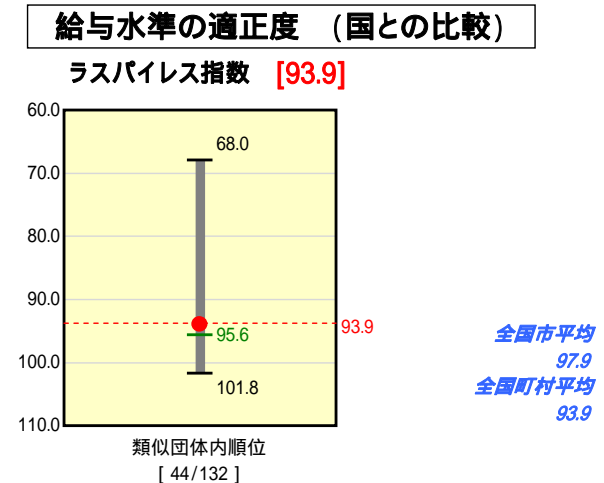
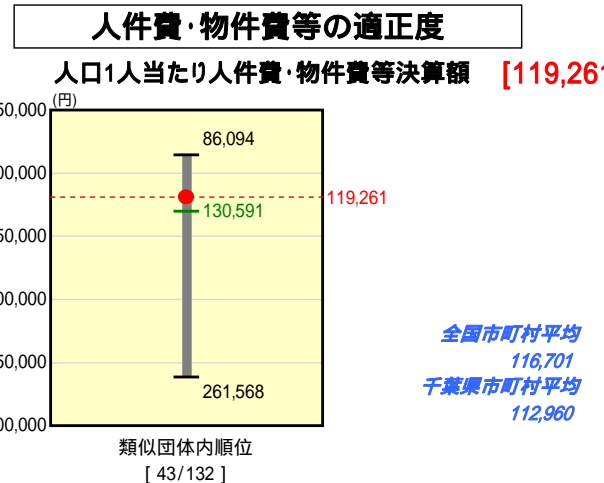
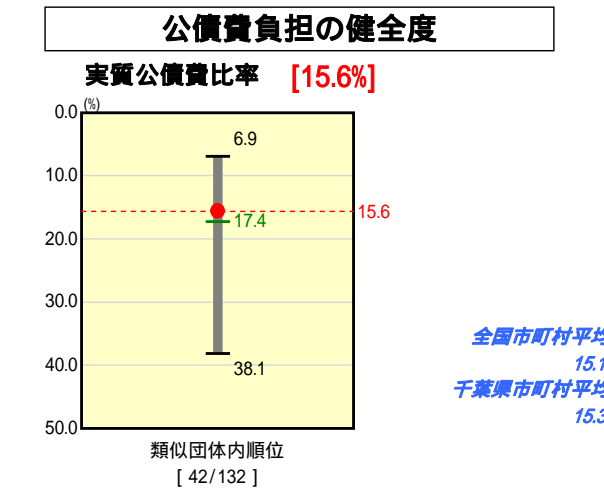
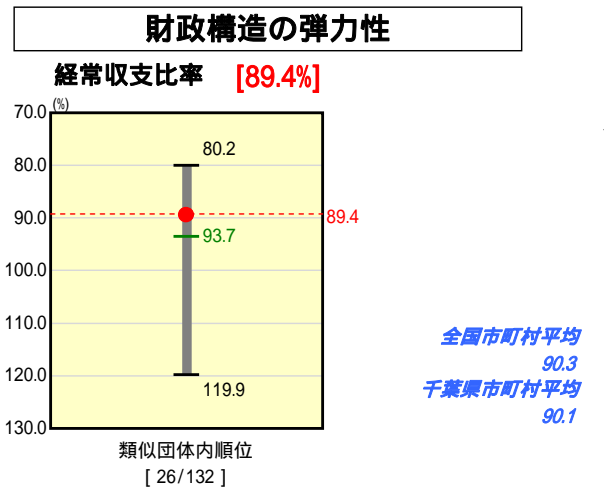
市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

千葉県 いすみ市

人口	43,201	人(H19.3.31現在)
面積	157.50	km ²
歳入総額	14,763,447	千円
歳出総額	14,108,606	千円
実質収支	633,466	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
前年度比較によると0.03ポイントの増であり類似団体平均を上回っているが、県内市町村平均からは0.27ポイント下回っている。平成17年12月5日の合併から大きな財政基盤の強化が図れておらず、今後はいすみ市集中改革プランの更なる推進により定員管理の適正化(5年間で70人)等による歳出削減(5年間で10億円)を実施するとともに、地方税の徴収強化(5年間で5%の向上)等の取組を通じて財政基盤の強化に努める。

【経常収支比率】
類似団体平均と比較すると4.3ポイント下回っており、県内市町村平均からも0.7ポイント下回っている。昨年は新市になり生活保護費等の扶助費の増加などにより高まったが、18年度から実施している職員の給与カット(特別職15%、管理職手当2%引き下げ)による人件費の削減、PDCAサイクルに基づき事務事業の再編・整理、統合・廃止により57事業の評価の実施、高齢者等移送サービス事業の見直しを実施し、経常経費削減に取り組んだ。今後も引き続き行財政改革に取り組み、経常的経費の削減に努める。

【実質公債費比率】
市制前より起債抑制を図ってきたことにより、前年度と比較すると0.8%減少しており類似団体平均との比較でも1.8%下回っているが、県内市町村平均からは0.3%上回っている。今後控えている中学校建設や防災行政無線整備等により比率も上昇されることが予想されるが、他の大規模な事業計画を抑制し適切な地方債管理を徹底させ、実質公債費比率の急激な上昇を抑え類似団体平均を上回らないよう努める。

【人口1人当たり地方債現在高】
合併後、急激な大型事業を抑制していた事により類似団体、全国、県平均ともに下回っている。今後数年間で中学校建設や防災行政無線整備等が予定されており、新規の地方債発行額(5年間で8,300百万円)が見込まれる。他事業における地方債発行を抑制し、プライマリーバランスの均衡を図りながら公債費の抑制に努める。

【ラスパイルズ指数】
平成18年度より給料表の適正化や給与水準の見直し等を実施したことにより類似団体、全国市平均より下回っており、全国町村平均と同水準となっている。今後も引き続き給与水準の適正化維持に努めたい。

【人口1,000人当たり職員数】
類似団体、全国、県平均ともに上回っている。合併により清掃組合が市の事務へ編入された事による職員数の増加はあるものの、合併以前より平均値を上回っていた。平成18年度より3年間は退職者の補充を行わず、いすみ市集中改革プランに基づき5年間で70名の職員削減と市民局の職員配置等を見直し、適切な定員管理に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
前年度比較では11,297円の減となっているが、全国、県平均より上回っている。これは合併により編入された清掃組合職員の人件費が主な要因となっている。今後はいすみ市集中改革プランに基づく適切な定員管理の徹底や、施設運営について指定管理者制度の導入を進めコストの低減に努める。